

ビー・トランセホールディングス株式会社

日本一“あいさつ”を大切にするバスとタクシーのグループ会社

<会社概要>

■会社名：

ビー・トランセホールディングス
株式会社

■所在地：

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3
幕張テクノガーデンD棟10階

■代表者：代表取締役 吉田 平

■創業：平成20年6月1日

■資本金：2,000万円

■事業内容：

①旅客自動車運送事業系列グループ会社

の経営企画及び管理業務

②系列会社：

- ・西岬観光株式会社（本社：千葉市緑区）
ハイヤー（一般乗用旅客自動車運送業）、
貸切バス（一般貸切旅客自動車運送業、
特定旅客自動車運送業）、高速路線バス
（一般乗合旅客自動車運送業）
- ・あすか交通株式会社
（本社：千葉市美浜区）
観光貸切バス（一般貸切旅客自動車
運送業、特定旅客自動車運送業）、
一般路線・高速路線バス（一般乗合旅
客自動車運送業）、旅行代理業
- ・平和交通株式会社（本社：千葉市稲毛区、
営業所：千葉市若葉区）
一般路線・高速路線バス（一般乗合旅客
自動車運送業）、貸切バス（一般貸切旅
客自動車運送業、特定旅客自動車
運送業）

<沿革>

- ・昭和40年：千葉市内にてタクシー車両5台
で、有限会社西岬観光を創業
- ・昭和49年：幸町団地自治会からの要望
を受け、団地～JR西千葉駅を結ぶチャーター
タクシーを運行するため、有限会社団地交通
（現あすか交通(株)）を創業
- ・昭和50年：西小中台団地自治会からの要望
を受け、団地～JR新検見川駅を結ぶチャータータ
クシーを運行するため、有限会社平和交通を創
業
- ・昭和54年：若松台団地自治会からの要望
を受け、団地～JR都賀駅を結ぶチャータータク
シーを運行するため、平和交通若松営業所を開設
- ・昭和59年：全国初、平和交通で女性乗務員
を採用
- ・平成2年：平和交通が都内～千葉県内を結
ぶ深夜急行高速バスを運行開始
- ・平成7年：団地交通が貸切バス事業を開始
- ・平成20年：グループ3社の統括本部とし
て、旅客事業株式会社を設立。団地交通を
あすか交通へ改名し、グループ会社全てを
株式会社へ変更
- ・平成24年：グループ持ち株会社ビー・ト
ランセホールディングス株式会社を設立
し、旅客事業株式会社より業務を移行

■スピーカー

執行役員管理部長 金子 孝

テーマ：

人生における『働くこと』とは

■旅客自動車運送業とは

日本国内には380万社以上の企業があり、その内の約99.7%が中小零細企業です。当社もその内の一社ですが、数ある業種の中でも比較的身近にある業界、旅客自動車運送業に関してお話いたします。

旅客自動車運送業とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業形態をいいます。その中でも事業の形態や、使用する車両の種別により4つの事業免許に分かれ、『一般乗合旅客自動車運送事業』、『一般貸切旅客自動車運送事業』、『一般乗用旅客自動車運送事業』、『特定旅客自動車運送事業』に細分されます。分かりやすく言うと、「バスやタクシーなどの車両を運行して、人々の移動手段を提供することによって対価を得る仕事」です。

この業界の仕事内容をイメージすると、『バスの運転手！』を思い浮かべる方が多いと思います。当社グループには300名以上の従業員がいますが、たしかにその内の約77%がバスやハイヤーの運転業務を行う乗務員です。ただ当社も企業組織なので、当然のことながら組織を運営するスタッフ部門もあります。

・運行管理部門：

車両を安全に運行するために、乗務員の労務管理や車両管理を行う業務

・営業部門：

観光貸切バスを使った旅行の提案や、一般企業やホテルなどに対して送迎バスを使った運用提案を行う業務

・企画部門：

路線バスの新規開設をするための市場調査や自治体との折衝、認可申請業務や、現行路線の利用状況調査や収支改善を行う業務

・総務部門：

従業員の労務や人事管理、広報、システム構築・管理や経理業務など、会社組織を円滑に運営していく業務

これらの組織を運営する内部部門と、日々お客様へのサービスを提供している乗務員が力を合わせ、お客様が求める移動ニーズを提供し続ける仕事が『旅客自動車運送業』です。

■今までの人生の中で

<自らの経験で気付いたこと>

私は北海道の大学を卒業し、道内でトップシェアを誇る旅行代理店へ就職しました。が、当時の私は全く働く意欲も無く、就活意欲も無く、そもそも「なぜ働かなければならないのか？」という疑念を抱きながら新社会人となったのです。そんなやる気のない新入社員の自分は、何度も遅刻を繰り返し、仕事でもミスを繰り返し、挙句の果てに付

けられた代名詞が『前代未聞の新入社員』でした。

さすがの私も「このままではダメだ！」と思い、手始めに定時の一時間前に出社するように生活習慣を変えました。当然遅刻は無くなったのですが、それ以外にも仕事に向かう気持ちに余裕が生まれ、仕事上のミスも無くなっていきました。そのような私の姿を会社の役員も見ていて、役員から直接私に仕事の依頼が来たり、新たな社内プロジェクトメンバーに選出されたりと、自分のちょっとした取り組みが周りからの評価も大きく変えることにつながったのです。このときの経験から、今でも一時間以上前に出社し、仕事に入る前に行動予定を再確認したり、仕事の段取りを見直したりする時間を大切にしています。

次に転職した会社は、建築資材の商社でした。営業職として入社したのですが、前職では内勤だったので全く営業のノウハウもなく、売上ノルマに追われる日々を過ごしていました。「売ろう！売ろう！」と顧客を回りますが全く売れず、逆にクレーム対応に追われ振り回される毎日に、『何で自分だけがこんな思いをしなければならないのだろう？』と思い悩んでいました。

そんな時、営業の先輩に同行させていただく機会があり、自分の営業マンとしての愚かさに気付きます。『売りたい商品を売る』のではなく、『お客様が必要としている商品を提供する！』ことが大切なのだ。そして自分自身が信用され、必要とされる人間になることが、何よりも大切なのだ。

今は営業職ではありませんが、その時学んだことがそもそも商売の原点であり、社会人として、人として何よりも大切なこと

だと信じて生活しています。

<壁への挑戦>

普段の生活や勉強、部活など、困難なことに遭遇すると『壁にぶつかった！』と言います。が、その『壁』はレンガでもコンクリートでもなく、自分の心の中に作り上げた、ただの『創造物』でしかありません。その創造物である壁は乗り越えられるわけでもなく、すり抜けられるものでもなく、当然壊せるものでもありません。

ただ、その心の壁を消し去る方法は2つあり、

1. 無理だとあきらめて、何もアクションを起こさないこと
2. 克服しようと思い、何らかのアクションを起こすこと

いずれの方法でも一時的に心の壁を消し去ることができますが、結果には大きな違いが出てきます。

1の『何もアクションを起こさない』選択をしたときに残るものは、現状維持であり何の変化もない敗北感です。

2の『何らかのアクションを起こす』選択をした場合は、良い結果だろうが悪い結果だろうが、必ず行動による結果が出ます。その結果が、自分にしか得ることができない『経験』となります。

『考える(悩む)』→『行動する』→『経験を得る』ことが『知恵』につながり、『知恵』を使えば、様々な選択肢を導き出せる能力を身に付けることができます。

■今の自分

～価値観はどのように出来上がったか～

誰でも遠い昔、幼い頃の出来事を、断片的にでも覚えていると思います。一ヶ月前の昼ごはんも覚えていないのに、なぜ十年以上も前の出来事を覚えているのでしょうか。「エビングハウスの忘却曲線」というドイツの心理学者が定義したものがあります。脳はどれだけ記憶しておくことが出来るのか？というのですが、1時間経つと44%、1日経つと33%しか記憶が残らないと言われております。人は趣味など興味関心がある物事に関しては細かいことまで覚えているのに、大して興味のない話に関しては忘れてしまうものです。

では何故幼い頃の出来事を覚えているのか？それは記憶力が良いからではなく、そのときにあった出来事が、いまの自分の考え方「価値観」に大きな影響を与えているからだと考えられます。

自己分析をするときに、過去に起きた出来事を記憶の箱から引き出し、なぜいまの自分がいるのか？どのような出来事に感銘を受けたのか？自分自身が選択してきた道を振り返ることから始めることが、とても大切なことです。

■これからの人生

～しくじりゃ恥じだが、役に立つ！～

先にも一部の経験談を述べましたが、今回だけでは語りきれないほど多くの失敗をしてきました。当然、たくさん叱られてきま

した。叱られるたびに落ち込み、どうすれば失敗をしなくなるのかを考え、自らの行動や考え方を変えて今の自分がいます。

「失敗は成功の基」という言葉がありますが、「失敗」という経験が「成功」につながるのではなく、何故失敗したのか？同じ失敗を繰り返さないために何をすべきなのか？を追求し、自らの行動を改めて実行することが「成功」につながるということです。

学校にいと、教職員の方々から多くの学びを与えられ、成長することが出来ます。社会に出ると、自分から学びを得る努力をしなければ、成長することは出来ません。そのために日ごろから興味関心を持ち、多くの情報「学び」を得る努力をしてください。

多くの情報を得ることで、多くの知識を得ることが出来ます。多くの知識を蓄えることで、様々な知恵が生まれます。様々な知恵が生まれることで、様々な選択肢を考え出すことが出来ます。いずれかの選択肢を選び、実行することで、経験を得ることが出来ます。

成功しようが失敗しようが、自分自身にしか得られない貴重な経験であることに違いありません。その経験こそが、皆さんにとっての「財産」なんです。

『就活』と『終活』

皆さんは、なぜ就職活動をするのでしょうか？自立をするため？贅沢な生活をしたいから？みんなが就活しているから何となく？

そもそも働くことの目的は何なのか、しっかり定まっていますか？

これから長い人生を生きていく中で、皆さんの人生の大きなウェイトを占める時間が、社会人として働く時間です。

『終活』という言葉聞いたことがあると思いますが、「人生の終わりを迎えるための活動」のことです。「まだまだ死ぬつもりも無いのに、何で『終活』が出てくるの？」と思うかもしれませんが、良い人生だったと思える時間を迎えるためには、これからどれだけ充実した生きがいのある時間を過ごすことができるかが、大きな意味を持つので

です。

働くこととは、自分自身の生き様を実現すること！

皆さんがそれぞれ違う価値観を持っているように、会社も様々な価値観を持って事業を行っています。自分自身の価値観と異なる価値観を持っている会社で、果たして皆さんの生き様を実現できるのでしょうか？皆さんが就職すべき会社は、自分の生き様を実現できる会社でなければなりません。その会社と出会うために就職活動をおこない、そのための時間を絶対に無駄にしないでください。

私自身も自分の生き様を忘れず実行するように、行動指針を紙に書いた『マイ・クレド』を常に持ち歩いています。

皆さんも共に、一歩上の自分を目指していきましょう！

企業理念



「お客様」の満足、「働く人々」の満足、「企業」の満足の三つの満足が、バランスのいい正三角形をなし成長していく会社を目指します。